

院長ごあいさつ



地方独立行政法人奈良県立病院機構
奈良県西和医療センター院長

土肥 直文

皆さま、こんにちは!まだまだ暑さの厳しい毎日ですが、熱中症予防はできておりますでしょうか?特にご高齢の方や小さなお子様におかれましては、室内の温度調整やこまめな水分摂取を心がけてください。

さて、ここに「ファミリーむろ」の最新号をお届けいたします。今回は、皮膚科の笥(かけひ) 医長が皮膚のトラブル(薬疹)について、看護部と薬剤部がスキンケアやステロイド外用薬について解説しています。また、形成外科の真柴部長が眼瞼下垂について解説してくれました。形成外科というのは、美容外科とは全く異なる診療科です。体表面のできもの(悪性を含む)や傷の外科的な治療に加えて、乳房切除後の乳房再建など実に幅の広い外科系の診療科です。今回は、多くの高齢者が抱える症状の一つでもある、瞼(まぶた)が下がる「眼瞼下垂」の治療についてクローズアップしています。これは、加齢によってまぶたを持ち上げる筋肉の働きが弱まり、本人も気づかないうちに視野が狭くなり、やがて肩こりや頭痛といった症状が現れることが多いという特徴があります。形成外科で、まぶたを持ち上げる治療を受けることで、視野は明るく、肩こりや頭痛までも治ってしまうことがあります。気になる症状のある方は、是非、形成外科の真柴部長の診察を受けてください。その際にはまず、かかりつけ医の先生などにご相談の上、紹介状を書いていただくことをお奨めします。その他には、当センターが奈良県から「地域がん診療連携支援病院」に認定されたこと、さらに最新式CT装置や血管造影装置について、特集コーナーでは手術室の看護師の仕事についても分かりやすく書かせていただきました。今号も充実した内容になっておりますので、是非、自宅に持ち帰ってゆっくりとお読みください。最後に、皆さまにおかれましては、万全な暑さ対策をとっていただき、くれぐれも健康にお過ごしください。

令和7年9月

新任医師紹介

令和7年6月1日付

集中治療科
医長



きんじょう まさし
金城 昌志

呼吸器内科
専攻医



みやもと ひろのり
宮本 誉

令和7年7月1日付

整形外科
医長



まつい みつまさ
松井 満政

脳神経外科
医員



ますた たかひろ
桒谷 鷹弘